

## 年度末事業の中止相次ぐ…！！

新型コロナウイルスの爆発的感染拡大の影響が、様々なところで目立つようになりました。天草市でも1月中旬ごろより感染者の増加が見受けられ、2月末現在も未だに毎日新規感染者が発表されている事態です。熊本県では、2月13日に解除予定だった『まん延防止等重点措置』の期間が3月6日までに延長され、今後の動きも未だ先の見えない状態となっています。

なお、下浦町では、2月の第一日曜日に毎年行っている【ふるさと祭り】や、20日に予定していた【下浦さるく】・25日に予定していた【健康料理教室】・2月～3月初頭に行く予定だった【施設利用者対抗ミニバレー大会】等が、感染者の増加やまん延防止等重点措置の延長により中止となりました。どの事業も行う予定として進めてきたもので、関係者の皆様や参加対象者の方々には大変残念な思いをさせてしまい、申し訳ありません。また、来年度事業を行う際には振興会だよりで呼びかけ致しますので、その際は是非参加のほどよろしくお願いします！

今後、下浦地区コミュニティセンターは、3月1日(火)に確定申告会場として、3月27日(日)に天草市議会議員一般選挙の投票会場として利用されます。そちらも密を避けてご申告・ご投票の方よろしくお願いします。皆様も感染対策を十分に行い体調管理にご留意くださいますようよろしくお願いします。

### 会長コラム

#### 「令和3年度を振り返って・・・」

川崎 宏

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」といわれますが、早いもので令和3年度もあと1ヶ月で終了します。最近、強風や寒波に見舞われることが多い日本列島ですが、振興会にとっての令和3年度も新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年間でした。

さて、本年度の取組として2つを掲げていました。1つ目は地区振興の柱である「獅子が舞うぼんかんと石工の里」下浦づくりの推進でした。残念ながら集大成としての「下浦ふるさと祭り」は中止となりました。そんな中、地域づくりに協力していただく団体との連携は少しは進められたのではないかと感じます。区長OBのざっくばらんの会には、獅子とボンカン等のイルミネーション設置、下浦の特産品等の販売で下浦の魅力をアピールしていただきました。

弁天会には「下浦さるく」、地域活性化のための弁天石切丁場の整備をめざした活動等で協力いただきました。両団体には「下浦さるく」のミニコースのスタート・ゴール地点としてマップもおいていただきます。下浦石を使った道標の作成には石工の皆様の献身的な助力があり、下浦石や設置場所を提供いただいた方にも感謝です。開新会の暑い中でのコミセン周りの整備事業、聖和園の協力によるふれあい弁当配布も大変お世話になりました。

2つ目は、下浦地区のふれあいや絆、健康づくりの振興会事業の実施でしたが、これは推進できませんでした。高齢化社会への対応もなかなか進みませんでした。振興会の取組や課題解決があまりできず皆様にはご心配をかけた1年間でした。

地区振興会だより

しもむら

3月1日号

発行  
下浦地区振興会  
23-4733

下浦ホームページ  
ひよっこりボンカン島



<http://shimura.info>



**ふれあい弁当配布事業中止のお知らせ**

3月4日(金)に予定をしておりました、今年度第2回目のふれあい弁当配布事業につきましては、まん延防止等重点措置の延長に伴い、特養聖和園様と協議し、【中止】することになりました。毎年楽しみにされている対象者の皆様には大変残念な思いをさせていただきますが、何卒ご理解のほど宜しくお願いします。  
また来年度は、おいしいお弁当を届けられるよう尽力していきたいと思っております!!

**令和3年度 ふるさと応援交付金寄付者ご紹介**

令和3年度、ふるさと応援交付金を下記の方々より頂きましたのでご紹介いたします。

- ★湯貫 秀昭様 ★久間 孝志様 ★原田 末男様
- ★原田 結香様 ★高橋 大典様 ★江浦 正佳様
- ★橋本 秀一様 ★小島 信雄様 ★曾我部信一様
- ★丸山 寛二様 ★山田 弘康様 ★喜多 正宣様
- ★牧野 友紀様 ※R3.11.30迄
- ★他、匿名希望24名ありがとうございました。

**大学生が天草デザイン・リサーチツアーで来町!**

武蔵野美術大学では、地域のデザインの重要性を学生達が体験し、社会実践していくために様々な学びが行われていますが、今回、学生たちが、授業外で自ら研究・体験を天草でしたいと希望されており、武蔵野美術大学の若杉浩一教授との関わりが深い下浦町で3月19日~27日まで滞在し、地元の生活に密着しながら活動が行われることになりました。学部3年生から大学院1年、ドクターの学生など10名が滞在しますので、どうぞよろしく願いたします。

**下浦町の人口**

世帯数:753世帯(-5)[-7]  
人口:  
男 784人(-1)[-7]  
女 893人(-2)[-12]  
計 1,677人(-3)[-19]

※令和4年1月31日現在  
※( )内は先月比  
※[ ]内は前年同月比

**3月~4月の行事予定**

- 3月 ---
- 1日 確定申告
  - 3日 自治活動部会
  - 中旬 地区振興会役員・自治活動部会合同会議
- 4月 ---
- 4日 第1回自治活動部会

**愍性寺境内に、木彫りの布袋様!**

1月16日に愍性寺で寄贈された布袋様の除幕式を行いました。  
寄贈されたのは、船場出身の原田末男さんです。中国に旅行に行かれた折に、立派な木彫りの布袋様を見て、「わあ!愍性寺の和尚にそっくりはい!!」という事で和尚に土産として購入されたとのことです。

布袋様は九百十七年、中国の寧波市に実在した伝説的な仏僧(仏教のお坊さん)で本来の名前は契此(かいし)、または釈契此(しゃくかいし)と言い、太鼓腹の僧侶で常に袋を背負っていたことから布袋というあだ名が付けられたそうです。肥満体の布袋様は、広い度量や円満な人格で富・貴・繁栄を司ると考えられており、大きな袋は「堪忍袋」と呼ばれ、どんなも事にも決して怒ったり、不快な顔をする事なく、笑顔で人々を満足させ相手も笑顔にさせる徳があるとして室町時代後期に七福神の一神として信仰されるようになりました。実在した人間が神様として祀られているので、七福神で唯一神様になった人間であるとされています。

寄贈された布袋様は、高さが2メートル50センチ(約3メートル)で本堂の中ではなく、一般の方々にもお参り頂くよう、本堂の隣に新たに建物を建設しました。これは今後下浦の名物にもなると思います!布袋様のご利益は、子宝・縁結び・金運上昇・商売繁盛・無病息災・夫婦円満等々あるそうです。町内の皆様も是非一度見学・お参りに行って見て下さい!日本一優しい布袋様になりますよう。



**ありがとうございました**

◇下浦地区振興会へ香典返しとしてご寄付をいただきました。(敬称略)

☆鳥羽瀬 弥生様(石場) 亡母 松岡キミエ様

◇コミセの清掃をしていただきました。2月10日(木)にこにこクラブ

◇3月1日(火)に下浦コミセンが確定申告の会場になります。各部屋が準備のため28日(月)15時より使用できなくなります。

